

アドレス <http://www.kioicho-rc.jp>

東京紀尾井町ロータリークラブ

KIOICHO WEEKLY Vol.29-10 No.1274 2020.9.24

国際ロータリー会長 HOLGER KNAACK
ホルガー クナーク

Rotary Opens Opportunities

テーマ ロータリーは機会の扉を開く

*例会日 木曜日 12:30

*事務所 102-0083 東京都千代田区麹町3-5

*例会場 ホテル ニュー オータニ

得水ビル2階202号

*創立 1992年9月17日(平成4年)

電話 東京03(3265)8597番

*会長 大竹章裕 幹事 坂田生子

FAX 東京03(3262)5279番

*会報雑誌委員会 委員長/森田建二 副委員長/佐藤香織・吉岡幸志 委員/今井千晶、熊川貴昭、馬淵知子、山口妙子

9月17日 第9回例会(通算1273回) 会場: PALAZZ00

1. 出席者 会員 57名
ZOOM参加者 名
ビジター 2名 計59名

司会 今井千晶会員

2. 開会の辞・点鐘 大竹章裕会長

3. ビジター紹介 中島 聡会員

4. 会長挨拶 大竹章裕会長

皆様、こんにちは。今日ひげそりをしておりまして、水道の水が一気に冷たくなったことに気づきました。暑さ寒さも彼岸までといいます。水は一步先に季節を教えてくださいました。

彼岸を控え先日ふと自らの先祖に対し思いをはせる経験をしました。私の家は万治元年(一六五八年)に先祖が亡くなっておりますので、江戸時代の初めの頃に今住んでいる大田区久が原にやってきたようです。私で22代目となります。代々の百姓ですから誇るほどの家系ではありませんが、わかっているだけで360年、その前も入れれば一体何人の先祖が家を絶やさぬように一代一代丁寧に時を紡いできたから私がある。そう思うと改めて肅然とします。

さて今日は飯塚先生の卓話です。24年前の平成8年、私が29歳の折りに初めてお目にかかったときのこと、初めて見た先生は野武士のようで、荒々しい印象に思わず引き寄せられました。そしてその太い声で「君はあるべき姿を描いているか」と尋ねられた私は何も答えることができなかつたのを覚えています。

私は今まで家を継ぎ次代へ渡すということに真正面から向き合っていませんでした。しかし、紀尾井町RCの会長をつとめることで歴史を紡ぐことに直面し、そこから逃げるわけにいかないと覚悟を決めました。私には今、紀尾井町RCのあるべき姿がはっきり見えます。平成4年の創設以来先輩方が造ってくださったクラブの歴史を、第29代会長として大切に守り、新しいクラブへ橋渡しをする役目と自分を定義しています。ここは自分たちの場です。私たちの手で幸せの道を歩み、創りましょう。

以上で会長挨拶を終わります。

5. 幹事報告 坂田生子幹事

①週報、配布致します。

②先週、回覧致しました入会申込書(2名)、御覧になっていない方がいらっしゃるようですので、再度、回覧致します。ご異議の有る方は、例会終了までに、幹事又は事務局までお申し出下さい。



卓話者 飯塚保人会員

9/24 第10回例会

麗の間

10/1 第11回例会予告

麗の間

「FOREVER元気・・・今が旬」

「ロータリーと私」

手島京子会員・守重知量会員

新村敏明会員

③ニューオータニよりマスクケースを頂戴致しました。ご活用下さい。但し、これは毎回、頂けるものではございませんので、どうぞ捨てないでお持ち下さい。

6. 委員会報告

・親睦活動委員会 浅見 亨委員長

皆様こんにちは。明日(9/18)に開催されます炉辺会は、会場の都合で18時スタートでしたが、18時開場、18時30分よりの開催となります。お間違いのないよう宜しくお願い致します。

7. ニコニコボックス報告 林 ひろみ会員

8. 卓話 「念じれば現す」 飯塚保人会員

皆さん、宜しくお願い致します。今日は「念じれば現す」と言うお話をさせて頂きます。念と言う字は、今に心と書きます。「今に心有れば実現しますよ」と言う意味です。私は本当にこれを信じてずっときています。小学校4年の時から、社長になろうと思って、23歳の時から社長になっております。学生時代から、今で言うベンチャー型ですね。貿易の会社を作りました。今は経営コンサルタントとして働いております。私は生涯現役で行こうと。死ぬまで働こうと。そういう気持ちでこれからも頑張っていくと思っています。最初に2分程、私の経歴を映しますのご覧下さい。

私は60歳から馬に乗りまして、65歳から歌手デビューしました。75歳からユーチューブにデビューします。今、挑戦しています。今日は主に馬と歌の話をしていきます。馬は関係者が多いのです。今日はご縁のあった方に協力してもらって、一言づつ言ってもらいます。

まず、私が馬に何故、乗ったか？何故、歌手になったのか？その辺のところを重点的に話します。

最初に宗田さん。私に馬を進めたのは宗田さんです。彼は元々、馬術部で上手かったのです。宜しくお願い致します。

宗田：宗田でございます。実は、飯塚先生とは20代の頃から公私共にご指導を頂きながら、大変お世話になっております。早や35年位お付き合いをさせて頂いております。この紀尾井町RCにも2002年10月に飯塚さんの紹介で入会させて頂きました。私が飯塚チルドレンの第1号でございます。

本題に入りますと、飯塚先生がどうして馬と出会ったかと言うお話なのですが、丁度、飯塚先生が還暦を迎えられた時に皆でお祝いをする会を箱根の仙石のゴルフ場だったと思いますが、そこで行った時に「先生、ゴルフも良いけれど、乗馬などもやってみたらどうか？」と言う話が出ました。それで、たまたま、私が学生時代に馬術部にいた経験が有りまして、その時に御殿場に有るアルカディアと言う乗馬クラブで夏合宿を行った事が有ったので「じゃ、皆で乗馬でもしようよ」という事で、10数名位居たと思うのですが、皆で乗馬に行きました。皆さん、ご存知の方もいらっしゃると思うのですが、普通の乗馬クラブは柵の中で乗るのですが、アルカディアは富士の裾野に有るという事で、その特徴は、外に出て草原の中を馬で散策する事が出来るという素晴らしいクラブで有りました。それで、多分、いっぺんで「乗馬って楽しいな」という事になったのだと思います。そんなことで、それから約17年間、乗馬を続けられているということです。飯塚先生から学んだ言葉で「継続は力なり、さらなる継続は宝なり」と言う言葉がございます。先生は自ら、乗馬を持ちましても、その継続をされていると。私もぜひ見習いたいと思っています。先生、これからもぜひお元気で末永く乗馬を楽しんで頂きたいと思います。

宗田さんがいなかったら、今日の私の乗馬との出会いは無かったです。本当に有難いと思います。皆、出逢いなのですね。それで、私が一人で寂しいからと引っ張り込んだのが今井さんです。今井さんと二人でオーストラリアくんだりまで、馬を買いに行ったりして大変でした。その辺のお話もどうぞよろしくお願い致します。

今井(宗)：16年前ですね。私が60歳の時に飯塚さんから

「乗馬やらないかね？」と誘われまして、私の中で乗馬と言うのは、遊びだか？スポーツだか？全く1%もなく「え、乗馬？」「やりましょう！」と言って、御殿場の乗馬クラブに行って、その日から馬に乗って、暫くするうちに「クラブの馬ではなくて、自分の馬に乗らないとこれはやはり本物じゃないな」と。「それなら、オーストラリアに買いに行こう」という事で、飯塚さんと二人でオーストラリアに買いに行きました。馬を買って、飛行機で持ってくるのですが、コンテナには馬が2頭入るのです。一人で1頭だと割高になりますから、二人でそういう風にすれば、1/2で済むわけですから、二人で買って来ました。そのクラブで買うと噂によると、やはりベンツ1台位すると。そこまでは出せない。それなら国産乗用車で済むオーストラリアに自分達で買いに



行きましようという事で2頭買って来ました。飯塚さんの馬は当時4歳。私のは「悟空」と言う名の6歳のクォーターホースです。前足と後ろ足が非常に両方強くて何でも仕事の出来るカウボーイの乗る馬なのです。それで、私は10年間、6年前、70歳の時に辞めました。土曜日に行きまして、1日乗って、その日、仲間5人、或いは10人位で食事をして、夜は1杯飲んで、次の日、日曜日にまた乗って夜帰ってくるのですが、月火水、3日間位、身体を戻すのに時間が掛かりました。馬と言うのは、どういう風に急に動くのか分からないので、常に体全部の筋肉を使って、支えて乗ってはいけません。ですから普段使わないような筋肉がとて痛くなるのです。そんな事で10年間乗って70歳の時に肉体の限界を悟って辞めました。もう少しやっていたかったのですが、やはり体がもたないので・・・。飯塚さんはまだ乗っているでしょう。大したものです。そういう事で10年一緒に楽しく乗馬をさせて頂きました。有難うございました。



今井さんは、誘ったら御付合い良く、馬まで一緒に買ってきて「悟空」と言う馬でいい馬でした。私のは雌でしたが、彼のは雄馬で中々いい馬でした。今井さんを誘ったのは、オートバイは乗るし、船は持っていらっしやる。こういう人だったら、馬も良いのじゃないかと思って誘ったら、御付合い頂いて良かったです。そこで次に出会ったのが中村俊輔さんです。乗馬クラブで出会いました。向こうの社長が彼から車を買っていたのです。「良い奴いるから、飯塚さん、面倒見てくれ」と紹介されたのが彼だったのです。これが出逢いです。彼も馬を持っていて、一緒に乗馬をやったのですが、それでは、中村さん、宜しくお願致します。

中村(俊)：皆さんこんにちは。飯塚先生と会ったのは、皆さんは多分、勉強会とか、ロータリーだとかだと思のですが、僕は遊びの世界でお会いしました。飯塚先生と初めてお会いして、飯塚先生とは仲良くなったのですが、その乗馬クラブのオーナーとは仲良くならなかったのです。で、もう1回、乗馬クラブのオーナーを先生に紹介して頂いて、乗馬クラブに入ったのです。凄く複雑なので、これは後程、個別に説明致します。それまで僕のお客さんは、お客さんって口に出せるようなお客さんが全くいなかったのです。でも飯塚先生に会って「お前は頑張っている。」と。「一生懸命やっている」と。大人の人に初めて褒めて貰った感じが有ります。で、「お前頑張っているから、俺の周り、ちょろちょろしている」と言われたのです。でも、僕はその「ちょろちょろしている」と言う言葉が、凄く感じたのです。それでいまだに15年間ちょろちょろしています。有難うございます。



どうも有難うございます。乗馬が本当に色々(谷井さんのお嬢さんもやっているし、谷井さんも少しやったし)色々なご縁を頂きました。女性は特に馬が好きですね。馬って中々うまくいかないのですよ。本当に。さっき、今井さんが言ったように、インナーマッスルを鍛える。だから私は馬を週末乗るために筋トレをスパでやっています。筋トレ2回とプール2回歩いています。ガタガタになります。そこでまたほぐして又行くと。ほぐさないといけないです。身体中バリバリになりますから。全身運動ですから。それが馬です。動画でどんなことをやっているかを映しますからご覧ください。

馬の方はこういう事で60歳から乗りました。もう一つは私が何故、歌手になったかという問題が有ります。それについて話します。今井さんとは飲んだり、カラオケを習ったりしていたのですが、或る時、銀座で歌っていたのです。そしたら「何故、俺がこっち側で歌うのだ」と。「向こう側に映らなくてはおかしいじゃないか」と思ったのです。思っちゃたのだからしょうがない。思ったら私、口に出しますから「あっち行かないとおかしいよ」と。これ引き寄せなのですね。それで、初めデビューしたのはクラウンです。クラウンのディレクターが「出しますか?」と。「出しましょう」と言って、トントン拍子に作詞家、作曲家の先生等と酒を飲んだりして、初めの曲「王道」と「幸せお前にありがとう」と言う曲が出たのです。私は、向こう側に出るのが目的だから2曲出たからもう良いだろうと暫く休んでいたのです。そしたら、歌手名で飯塚保人と引くと「い」で一番最初にでてくるのです。その次が「五木」なのです。こいつが200何曲入っているのです。「何故、俺が2曲だ」という事になって、又、最近出しまして、今5曲だしています。だからやはり何でも思うと引き寄せて来るのです。

例えばこのロータリーも金田さんに入れて貰ったのです。ご縁が有って。全部、縁なのです。すべては出逢いから始まるのです。だから皆さんも素晴らしい出会いを大事にして。柳生家の家訓に「小才は、縁に

出合って縁に気づかず。中才は、縁に気づいて縁を生かさず。大才は、袖すり合った縁をも生かす」とあります。袖すり合う縁を生かさないとだめです。この間もある東京駅のすし屋で会った落語家と今は親戚付合っています。プレゼンテーション習ったり、落語習ったりしています。何でもそうなのです。縁を生かす。だからせっかく素晴らしいこのご縁を本当に大切にしたい。とにかくご縁を皆、大事にしましょう。それでは、歌の画像をご覧ください。

私は小学校 4 年から社長になろうと思って、23 歳、学生時代から会社をやっています。或る時、OA 機器を売っても会社は良くならないのではないかとそういう風に思って、コンサルタントになろうと思って、コンサルタントの道に入りました。滅茶苦茶苦勞しました。OA 機器売っている時は、皆、相談するので。タダだから。コンサルタントの名刺を持った途端、誰も相談しないのです。「先生、お金取るのでしょ」と。えらい苦勞しました。で、最初の 10 年間は、とにかく勝つ経営。儲かる経営を教えようと一生懸命やりました。大体、それで出来ました。でも「これなんか違うな」と思って、次の 10 年間は「勝ち続ける経営」と言うのを勉強しました。これ出来ました。次に学んだのは「100 年続く経営」これも大体わかった。100 年以上続く老舗、金田さんの所もそうだけど、そういう会社を何社かみています。そして、今やっているのは「出会った人が幸せになれば経営は良くなるのだ」と。出会った人が幸せになれば良いという事を指導してやっております。だから私が冒頭に書いて有る「念じれば現ず」「あるべき姿。ありたい姿。あって欲しい姿。あらねばならぬ姿」をしっかりと描くという事です。

私が今度、始めているのは、「ほら」を吹く事なのです。「ほら貝」私の弟子で「ほら」を吹いているのがいるのですが、あれ良いのじゃないかと。今から、私、やります。死ぬ前に最後、「ほら」を吹いて死ぬ。大ぼら吹いて死のうと思って。（その時、人工呼吸か何かされたらほら吹けないので、考えていますが（笑））

何でも思えば出来ます。思わなくては出来ない。それから 75 歳で今、ユーチューバーです。見て下さい。こういういい顔が毎週出て来ますから。その中では、熊川先生に出て貰ったり、池尾先生もでております。守重会長も出ています。全部、身内で賄っていますから、そのうちに皆さんにも順番に出て貰います。ユーチューバーですから私は。ちょっとこれから面白くなります。

それから一寸、コロナの話もしましょうか？これ大変な時代になってしまいます。経済も物凄く厳しい。皆さんが思っている以上に厳しい。30%位失業者が出る。アメリカでは 300 万人が家賃払えない。これが、後 2 か月でホームレスになります。日本も 6 か月位遅れて全部来ます。大手の会社ほど危ない。分かります？銀行なんかもういらぬのです。キャッシュレス。オンラインになっちゃって。世の中、ガラッと変わります。コロナが終わっても前に戻りません。8 割が変化しますよ。それ覚悟して下さい。だから、JAL も危ない。全日空も潰れるでしょう。売上 2 割じゃ息出来ないですよ。合併したりして。JR も厳しい。地方のバス会社、ローカル電車、全部危ない。人が動かないのだから金が動かないのです。物なんか動かないのです。今、私が指導している中で、やはり良いのは、通販関係です。ネット販売。デパート売上 4 割ですから。ちょっと飲食は厳しいですね。やっとこ今「10 時以降来て良いよ」という事になったから、少し良くなってきたけれども、又、暮れにどうなるの分からない。寒くなって来て、菌が又起き上がって来て、コロナ菌もドンドン変化して来ていますから。向こうも成長している。強くなったわけでは有りません。コロナ菌も人間と同居しないと自分が滅びてしまうから、全部人間の命までは取らないのです。でも結構厄介。何が厄介かというと、きちんとした免疫の薬が無い。それで不安で厄介。リモートワークにどンドンなっている。初めて先月は東京都の人口は減りましたね。東京都から外に出ている。ずいぶん、世の中変わる。だから変わるのが当たり前なのです。

最後の結びとして、強い人間、強い企業が生き残るのではないですね。変化に対応できる企業及び個人が生き残る。だから僕は素晴らしいと思います。こういう中でロータリーをきちんとやって、コロナ禍でも頑張っていきましょう。全然関係ないです。コロナも何にもない。ドンドン 100 人目指して、会長を中心にやっていけばよいと思う。私もまた、何人か声を掛けていますから。とにかく皆で育てましょう。私もこのロータリーに入らせて頂いて、ずいぶん良いご縁を頂きました。皆さんもぜひ、皆で育てていくようにやっていきたいと思っております。本日はご清聴ありがとうございました。

9. 幹事報告

先ほどより回覧させていただいております入会希望者の件、どなたからもご異議がなかったので、承認とさせていただきます。

10. 閉会の点鐘 大竹章裕会長

【にこにこボックス】

本日の合計 83,000 円 (31 件) 累計 902,000 円 (274 件)

- 須藤 仁君：演台シールド、お借りしております。安心です。有難うございます。(東京麹町RC会長)
- 衛藤 重豪君：本人誕生日。
- 宮下 真君：結婚記念日。9/18、26 回目の結婚記念日です。
- 大竹 章裕君：9/15 戦没した祖父の神楽祭で靖国神社に行きました。彼岸を前に歴史を意識した次第です。
- 坂田 生子君：飯塚先生、卓話宜しく願います。とても楽しみです。季節の変わり目、皆様、ご自愛下さい。
- 堀内 雅史君：しばらくお休みしてしまいました。健康管理の大切さを思い知りました。大竹会長、坂田幹事、人事でご迷惑お掛けしてごめんなさい。中島SAA委員長にも重ねてお詫びと感謝を申し上げます。
- 飯塚 保人君：本日、卓話をさして頂きます。宜しくお願いします。
- 江藤 昭子君：飯塚先生、今日の卓話楽しみにしています。渡邊藍子会員、本日、お誕生日おめでとうございます。
- 石川ヒロ子君：飯塚先生、本日の卓話楽しみにしております。宜しくお願い致します。
- 渡邊 俊一君：飯塚様、本日の卓話楽しみにしておりました。宜しくお願いします。
- 齊藤 学君：飯塚先生、本日は楽しみにしております。宜しくお願いします。
- 谷井 玲君：飯塚先生、今日はよろしく願います。楽しいです!!
- 日高 正人君：飯塚先生、本日卓話よろしく願います。
- 中島有理子君：飯塚様、本日の卓話楽しみにしております。
- 宗田 裕司君：飯塚さん、本日の卓話楽しみにしています。
- 中村ひろみ君：飯塚塾頭、卓話楽しみにしております。
- 平島 有希君：飯塚先生の卓話楽しみにしております。
- 金井 繁晴君：飯塚さん、お話楽しみにしております。
- 小島 清治君：飯塚様、卓話よろしく願います。
- 中村 俊輔君：先生、よろしく願います。。
- 西脇 修君：飯塚さん、ご苦労様です。
- 垣見 裕司君：オンライン例会とペイペイニコニコが実現して嬉しいです。有難うございました。
- 手島 京子君：菅内閣が昨夜発足致しました。国民の為、頑張って頂きたいです。
- 大島 幹君：今日もよろしく願います。
- 浅見 亨君：寸志。
- 橋本 吉弘君：寸志。
- 今井 宗陽君：寸志。
- 河合由里子君：寸志。
- 守重 知量君：寸志。
- 中瀬 賀暁君：寸志。
- 渡邊 藍子君：寸志。

【米山財団寄付】

- 熊川 貴昭君：長女が 13 歳になりました。飯塚先生、本日、本当に楽しみです。
- 岡垣 栄治君：飯塚先生、卓話楽しみにしています。
- 金丸 精孝君：寸志。
- 松島 寛君：寸志。